

外国語教育メディア学会（LET）関東支部  
2018年度 研究研修部会活動報告書

➤ eラーニング研究研修部会

2018年度の開催はなかった。

➤ 音声・映像研究研修部会

2018年度・第1回研究会（ワークショップ）

日時：2018年9月15日（土）13:00～14:30

場所：早稲田大学早稲田キャンパス 11号館 1105教室

題目：「英語教師のための英文朗読入門」

講師：久保岳夫（早稲田実業学校）

LET bog 第169号への支部企画掲載

日時：2019年2月10日（土）

場所：<http://j-let.org/~wordpress/index.php?itemid=1765#more>

題目：「母音に優しく、子音に厳しく？」

執筆：久保岳夫（早稲田実業学校）

部会メンバー打ち合わせ

日時：2019年3月26日（火）＊暫定的

場所：高田馬場駅周辺

題目：2018年度の研究成果報告・2019年度の研究会テーマ及び講師  
の選定

➤ 教材・教授法研究研修部会

筑波大学において、2カ月に1回程度のペースで研究発表会を行った。

主なテーマは、「英作文におけるフィードバックのモードの違いが文法学習に与える効果」、「日本人英語学習者のコロケーションの知識と測定方法」、「日本人英語学習者の副詞の使用実態の分析とその効果的指導」、「英語の読みのモードの違いとその学習効果の分析」、「タスク遂行時の使用言語の違いとタスクの成果の関係」などであった。

➤ 早期外国語教育研究研修部会

2018年度の開催はなかった。

➤ 英語4技能試験研究研修部会

2018年4月 雑誌記事

萱忠義・藤永史尚

「今、英語教員に求められる指導・評価とは」、チエル『学校現場のICT活性化  
マガジン 2018 (高校/大学) CHleru.Magazine』 (pp.8-13)

内容：日本の英語教育改革の現状を踏まえ、教員は何をすべきかについて語った

対談記事。

2018年6月 招待講演

萱 忠義

英語4技能試験に求められる語彙知識と語彙学習法」2018年度 JACET 関東支部月例研究会, 青山学院大学

内容: 本講演では、日本の小中高の英語教育の現状を概観した後、4技能で求められる語彙学習とは何かという問いから、具体的な語彙指導方法まで明示した。

2018年8月 特別寄稿

萱 忠義

「使える語彙を増やすには? 「聴けば分かるのに使えない」悩みを解消!」アルク『1000時間ヒアリングマラソン マンスリーテキスト 2018年8月号』 pp. 92-93

内容: 英語4技能に対応するために必要な語彙学習法を解説。「分かる語彙」と「使える語彙」を区別し、「使える語彙」を増やすための学習内容と学習法を提案。

2018年10月 招待講演

萱 忠義

「将来、子どもたちに 英語が必要な理由」 第1回 Kids UP School Performance, 東京

内容: 英語で子どもの学童保育を行う Kids UP 主催の発表会で、保護者向けに英語の必要性を説いた。具体的なデータや国の政策などを示しながら、将来において英語の必要性が増すことを説明した。

2019年2月 特別寄稿

萱 忠義

「生きた英語にふれ 英語力をさらに高める」公文教育出版『ケイパブル 2019年春号』 (pp.7-15)

内容: 英語4技能について会員の親御さん向けに説明した記事。発行部数が72万部。

➤ 認知科学研究研修部会

2018年度第1回研究会

日時: 2018年11月16日(金) 16:30~19:00

場所: 足利工業大学 本館6階 睡眠学習センター-NIRS 実験室

テーマ: 「音読・黙読による読解時の脳科学データの活用法(NIRSを活用した実験の可能性)」

講師: 高橋栄作先生 (高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科准教授)

➤ リサーチ・デザイン研究研修部会

今年度は以下の2つの活動を行った。1) LET 全国研究大会(8/8)にて、これまでの活動を元に「EFL 環境におけるオンライン協働ライティング：データ可視化ツールとインタビューの混合法からみる学習者の協働ライティングに対する受容の変化」と題し発表を行った。2) 外国語教育エキスポ 2019(3/10)において「ICTを用いた外国語教育実践: 音読・リーディング・ライティング」と題し、授業への効果的な ICT 利用のためのワークショップを行った。

- 語彙学習・指導研究研修部会  
2018 年度の開催はなかった。